

令和2年度第2回鹿児島市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定・管理委員会会議概要

- 1 日 時 令和2年8月7日（金） 14時00分～15時30分
- 2 場 所 ホテル吹上荘3階 金剛の間
- 3 出席者 鹿児島市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定・管理委員会委員21名
- 4 会次第
  - (1) 開会
  - (2) 報告
    - ①施策の分析・評価・課題と今後の基本的な考え方について
    - ②介護保険の実施状況等について
  - (3) 議事
    - ①日常生活圏域について
    - ②第8期計画の基本的な目標と重点課題（案）について
    - ③第8期計画の施策の展開（案）について
    - ④介護保険サービスの見込量の基本的な考え方（案）について
  - (4) 閉会
- 5 審議の概要
  - (1) 報告について
    - 認知症の方やその家族への支援の内容は。  
⇒圏域ごとに初期集中支援チームを組んで、訪問するなど、それぞれの状態に応じた支援を行っている。
    - お達者クラブを存続するための健康づくり推進員の状況は。  
⇒毎年、養成講座を開催し、健康づくり推進員の養成に努めている。
    - 認知症サポーターの周知状況は。  
⇒高齢者等実態調査によると、認知度が低い。周知・広報に積極的に取り組み、認知症に対する理解の促進を図りたい。
  - (2) 議事について
    - 医療、介護、健診のデータ分析の具体的方法は。  
⇒保健事業と介護予防の一体的実施は、今後取り組んでいくものである。
    - 地域ネットワークの横断的な取組状況は。  
⇒各圏域の地域包括支援センターが、介護保険や保健医療関係など様々な相談に対応している。また、地域ごとに地域ケア会議を開催し、情報共有を図っている。
    - 行政の施策を地域で実施するためには、地域にある組織を活用し、連携を深めることが重要である。
    - 新型コロナウイルスの影響による高齢者のフレイル対策の状況は。  
⇒集まって活動実施できないケースもあり、重要な課題と認識している。個別の声掛けなど、地域ごとのグループの状況に応じて対応したい。
    - 介護人材の不足状況は。  
⇒市独自の調査はないが、国・県の調査結果は把握している。
    - 介護保険サービスの見込量は。  
⇒様々な介護サービスの実績を参考に、見込量を算定する。